

おしらせ INFORMATION

問い合わせ

- 本 庁**
菊池市役所 ☎(25)1111
- 総合支所**
菊池総合支所 ☎(25)1111
七城総合支所 ☎(25)1000
旭志総合支所 ☎(37)3111
泗水総合支所 ☎(38)2111

ポリオ予防接種を受けましょう

日程表のとおり、ポリオの集団予防接種をします。都合のつく日程と場所を受けてください。

その他の注意
法の改正でBCG接種の対象年齢が「6カ月未満まで」になったため、先にBCG接種を済ませてから、次の予防接種を受けることをお勧めします。

受け方

1回の服用では十分な免疫が得られません。必ず6週間以上の間隔を空けて、2回服用してください。

持参品

・母子健康手帳（忘れると接種ができません）
・予診票（ない場合は、接種前日までに母子健康手帳を持参して、各総合支所に取りに来てください）

下痢がひどい場合は、接種を延期してください。ワクチンの効果が弱まります。
冊子「予防接種と子どもの健康」をよく読み、理解した上で受けましょう。
予防接種を受けた後30分間は急な副反応が起こることがあります。会場で、お子さんの様子の観察をお願いします。
ポリオ予防接種後から次の予防接種までは、必ず4週間以上空けてください。

生後3カ月を過ぎたら BCG予防接種を受けましょう

対象は生後3カ月から6カ月未満です



4月1日（金）から、法の改正でBCG接種の対象年齢が「生後6カ月未満まで」と短くなりました。ツベルクリン反応検査をせずに、直接BCG接種をすることになります。

その他の注意
あらかじめ配布してある「予防接種と子どもの健康」をよく読み、理解した上で受けましょう。
接種する乳児の健康状態をよく知っている保護者が連れてきてください。
予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起きることがあります。会場で、お子さんの様子の観察をお願いします。
BCG接種後から次の予防接種までは、必ず4週間以上空けてください。

対象年齢と回数

生後3カ月～6カ月未満の乳児に1回
※生後6カ月を過ぎると、個人で受ける「有料」の任意接種になります。

持っているもの

・母子健康手帳（忘れると接種ができません）
・予診票

BCG接種ができない人

これまでに受けた予防接種やけがなどで、ケロイドがある人
免疫機能に異常がある人
その他、予防接種をすることが不適当と医師が認められた人
※気になることがある場合は、かかりつけの医師に相談するか、意見書を持参してきてください。

BCG日程表

実施日	対象者	受付時間	場所
5月12日（木）	実施日に3カ月～6	午後1時30分～午後2時	七城公民館
5月19日（木）	カ月未満の乳幼児		泗水公民館

※上記の実施日のうちで、都合が良い日に早めに受けましょう。
※BCG接種は1回接種で終了です。接種の有無は母子健康手帳で確認してください。



献血の協力をお願いします

とき 5月20日（金）
午前9時30分～午前11時
正午～午後4時
ところ 菊池市役所玄関前
内容 200ml献血・400ml献血
平成16年10月から献血の安全性向上のため、運転免許証やパスポートなどの身分証明証による本人確認をお願いしています。趣旨をご理解の上、協力をお願いします。
また、献血カードを持っている場合は一緒に持参してください。
問い合わせ先 健康推進課



皆さんの温かい協力をお願いします

4月から障害者手帳が変わりました

「小児まひ」とも呼ばれ、ポリオウイルスが人から人へうつって起こる感染症です。風邪に似た症状が続いた後、手足のまひが残ることがあります。
日本でも1960年代に大流行しましたが、予防接種の普及で、今では全く見られなくなりました。

4月から身体障害、知的障害、精神障害のある人が持つている障害者手帳のデザインが変わりました。
障害の種類で区別しない意識の普及や障害者手帳の一層の取得促進を図るために見直されました。

新しい手帳は、すべての手帳のカバーの色を統一し、ユニバーサルデザインの観点から分かりやすく使いやすいデザインを取り入れてあります。
なお、現在お持ちの手帳はそのまま使用できます。
新たにバスの介護人割引が適用されるようになりますが、この場合は、「バス介護人割引」を表示します。

「バス介護人割引」適用者は身体障害者手帳1種
知的障害者福祉手帳（療育手帳）1～2種すべて
バスの介護人割引が適用される場合は、スタンプを押印します。手続きは各総合支所の窓口を利用してください。
問い合わせ先 菊池総合支所健康福祉課・七城・旭志・泗水総合支所民生課

5月16日（月）～22日（日）は「春の行政相談週間」です

「役所の窓口案内が分かりにくい」や「分かりづらい道路標識を改良してほしい」、「年金について分からないところがある」などの問題を受け付けています。
相談日時と場所は、旧市町村で異なりますので各総合支所に問い合わせてください。
相談は無料で、秘密は固く守られます。

行政相談員

- ・西山正郎（菊池）
- ・中村正継（七城）
- ・森 保士（旭志）
- ・青木征輔（泗水）

人権・行政相談所を開きます

市民の皆さんの家族間の問題や財産・相続の問題、差別・いじめなどの「人権」や「行政」などの問題で困っていませんか。
心配ごとなどを、気軽に相談してください。相談は無料です。
とき 5月17日（火） 午前10時～正午
ところ 菊池市中央公民館
相談員 人権擁護委員、行政相談委員
問い合わせ先 市民課

平成17年度「菊池市国民健康保険の人間ドック」を受け付けます

新「菊池市」では、旧市町村で実施してきた人間ドック助成事業を引き続き行います。
助成を受けられる人は次のとおりです。
・国保加入期間が申請時点で3カ月以上
・満年齢が30歳から69歳まで
・国民健康保険税の完納世帯

受診は市内外8医療機関から1泊2日・日帰りコースを選べます。助成額は、検査費用の7割です。

申込受付は各総合支所で、5月から平成18年1月末までとしますが、予算に達した場合は途中で締め切ることもあります。

5月のモンモン健康情報 ☎096(385)3300 (24時間)

- 月：うおの目
- 火：甲状腺機能低下症
- 水：若いのに髪が抜ける
- 木：口が乾くのは病気でしょうか？
- 金：集団生活で問題となる疥癬
- 土日：「性のこと考えよう」シリーズ② 性行為と清潔・不潔